



ちようふ環境 こども新聞

発行 調布市 環境部 環境政策課 連絡先 電話/042-481-7086・7087(直通) FAX/042-481-7550 Email/kankyou@city.chofu.lg.jp

みなさんは、もしも、歩きタバコやポイ捨てをしている大人を見たら
どんなことを感じますか？また、世界的な問題となっている地球温暖化
について、何か考えたことはありますか？



地球温暖化防止啓発ポスター部門 優秀作品
染地小学校6年生



喫煙マナー・都市美化啓発ポスター部門 優秀作品
布田小学校1年生

喫煙マナー・都市美化 & 地球温暖化防止 啓発ポスター・標語
受賞作品決定！



地球そして財布にも
優しき自転車の巡るべし
調布の名所をも

地球温暖化防止啓発標語部門 優秀作品
今冬はめちやくちや寒い さん

ポイ捨て嫌(や)
自分家(ち)前でしてごらん？

喫煙マナー・都市美化部門標語部門 優秀作品
はなまるママ さん

調布市では、喫煙マナー・都市美
化と地球温暖化防止のために、毎年
「喫煙マナー・都市美化&地球温暖
化防止啓発ポスター・標語」を募集
しています。
今回も、「歩きタバコやポイ捨て
をしている大人を見て感じた思い」
や「地球規模の環境問題についての
考え」などをテーマにして、ポス
ターは小・中学生のみなさんに、標
語は年齢を問わず募集したところ、
ポスター53点、標語10点と、多くの
みなさんから作品の応募がありまし
た。
応募作品は、2月3日(火)から
2月9日(月)まで、文化会館たづ
くり1階みんなの広場で展示しまし
た。そして、来場したみなさんによ
る投票などを集計した結果、上に掲
載しているとおり優秀作品を決定し
ました！
応募してくれたみなさん、展示を
見に来てくれたみなさん、ありがと
うございました。
ポスターと標語の募集は、令和8
年度も行う予定です。まだ応募した
ことのない方は、ぜひチャレンジし
てください。お待ちしております。

「調布市都市美化の推進に関する条例」を一部改正します

公共の場所での鳥類へのエサやりを禁止へ

調布市都市美化の推進に関する条例を改正しました

道路、河川、公園などの公共の場所

ハトなどの鳥類にエサをあげてはいけません

令和8年4月施行

条例改正のポイント

市内の公共の場所(道路、河川、公園等)でハトなどの鳥類への餌やりを禁止します。

エサやりはハトにも人にも害になる恐れがあります

お問い合わせ 調布市環境部環境政策課 電話44-441-7087

人間がエサを与えてしまうと、鳥たちが自分でエサを探さなくなり、生きる力を弱めることになります。また、鳥が多く集まると、フンや鳴き声で、みなさんの生活環境が悪影響が及びおそれがあります。

エサやりは、鳥のためにも人のためにもなりません。市は「調布市都市美化の推進に関する条例」の一部を改正し、4月から市内の公共の場所(道路、河川、公園等)でのハト、カラスなどの鳥類へのエサやりを禁止します。この決まりが守れない人には、エサやりを中止するよう指導します。

鳥類へのエサやりを規制することで、みなさんの生活環境をより良くし、人と鳥類との共生を目指します。

調布市都市美化の推進に関する条例を改正しました

対象の鳥類

ハト、カラスなどの鳥類

禁止事項

調布市内の公共の場所(道路、河川、公園等)で対象となる鳥類へ、エサを与えること

違反行為への指導

禁止事項を守れない人に対し、鳥類への餌やりの中止を指導します。

ハト、カラスなどの鳥類にエサを与えないでください

ハト、カラスなどにエサを与えると...

野生の鳥類への影響

- 食料が豊富により個体数が増加し、生態系に影響が出ます。
- 人を恐れなくなり、
- 植物等の自然な食物を探さなくなり、自力で生きられなくなります。

生活環境への影響

- 公園や道路がフンや羽毛で汚れます。
- 聞き慣れない騒音につながります。
- 羽毛がぜんそくなどのアレルギーの原因になったり、感染症や寄生虫などを蔓延させることがあります。

お問い合わせ 調布市環境部環境政策課 電話44-441-7087

街中で見られるハトの種類、カラスの種類
～身近な鳥たちと上手に向き合うために～

街中でよく見かけるハトやカラスですが、実は種類によって暮らし方が全く違います。

群れで過ごすドバトに対し、キジバトは夫婦で行動します。カラスにも、高いビルを木に見立てて暮らすハシブトガラスと、広い場所をトコトコ歩くのが好きなハシボンガラスがいます。

暮らし方が様々なはずの野鳥ですが、人間が安易にエサをあげたり、ごみを出しっぱなしにしたりすると、特定の場所に野鳥が集まりすぎてしまいます。その結果、フンによるアレルギーの問題や、悪臭といったトラブルが起きてしまうのです。

私たち人間がルールを守って野鳥と適切な距離を保ち、鳥も人も心地よく暮らせる街をみんなで守っていきましょう。



ドバト



キジバト



ハシブトカラス



ハシボンカラス



日時 令和8年4月12日(日)
午前8時～9時(少雨決行)

集合場所

○団体参加

多摩川河川敷の各拠点(のぼり旗で表示)

○個人参加

京王相模原線鉄橋下の本部(当日、直接会場へ)

持ち物 軍手(お持ちの方)

その他 荒天により中止の場合は、当日午前7時頃に市ホームページにてお知らせします。

クリーン作戦 参加者募集!

多くのみなさんのご協力により、毎年、春と秋に行う多摩川クリーン作戦も、通算で92回目となります。

市は「調布市都市美化の推進に関する条例」で多摩川の河川敷を「美化推進重点地区」に指定しています。河川の環境を守り美化を推進する多摩川クリーン作戦に参加してみませんか。清掃用具(ごみ袋、トング)は市で用意します。当日は、動きやすい服装でお越しください。

多摩の未来を若者たちで考える

気候 YOUTH 会議

石炭や石油などの化石燃料からつくられるエネルギー利用が原因とされる気候変動は、災害や生態系の破壊、食料や水の不足を招く、世界的規模の問題です。このままでは、今の若者世代がやがてその影響の大半を受けることになります。

そこで、若者を中心に、気候変動に対して何ができるかを共に学び、考え、取り組んでいく「場」として、多摩地域の複数の市が協力して「気候 YOUTH 会議」を開催し、若者の主体的な活動を応援しています。



いつから始まったの？

令和6年度に日野市、多摩市、府中市の合同開催でスタートしました。調布市は令和7年度から参加し、日野市、稲城市、府中市と共に4つの市で取り組んでいます。

どんな人が参加しているの？

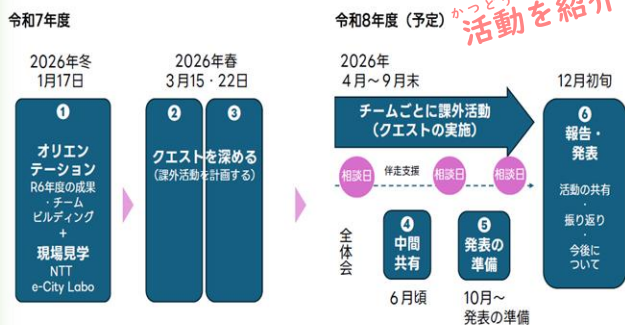
府中市、日野市、調布市、稲城市のいずれかに住んでいる、学校に通っている又は働いている、高校生～24歳の方です。

どんなことをしているの？

令和8年後半の成果発表に向けて、ワークショップやグループでのフィールドワークを重ねています。

プログラムのイメージ

先輩たちの活動を紹介します



参加者の声

若い人だけでも、同じ思いを持つ人が集まれば、小さなことも定まらぬ可能性があらうと感じられました

みんな、積極的に気候変動について考えようとしていて、想像よりも意欲の高さを感じた

多摩市でしかおられないことが発見できた

自分自身が行動をして、周りの意識などを変えていく必要があると感じました

今回参加したことは、いきなり大きな目標を立てて実行するのはなく、身近な課題から周りを巻き込んでいくことの大切さ

人それぞれイメージが違い、とても面白いと感じた

それぞれの視点からの視点がとても興味深いものがありました

他の市の方々と話すことで、より多くの意見が出て、より視野が広がった

自分にはなかった視点からの意見がたくさしあって、とても楽しく有意義な時間だった

現在、イベントは始まっていますが、定員に少しだけ余裕があります。4月から高校生になる方で興味のある方は、調布市環境政策課までご相談ください(連絡先は1ページの上部に書いてあります)。

令和7年度の記録



第2回(9月開催)
「野川を歩いて、水辺の不思議を発見しよう」



第1回(6月開催)
「カニ山の自然をつかって遊ぶ場所をつくろう」

キミもいっしょに こどもエコクラブ

調布こどもエコクラブは、河川や緑地などで自然体験を通じて環境を学ぶ、子どもたちの環境クラブです。年間を通して、山や川、農業など地域の自然をテーマに、見て・触れて・感じる体験型のイベントを行っています。令和7年度は、年4回の活動予定のうち1回を天候により中止したものの、参加者のみなさんには、身近な自然に親しみながら、遊びや観察、体験を通して発見や学びを得ることで、自然の魅力を体感していただくことができました。

こどもエコクラブでは、毎年4月に会員を募集しています。令和8年度も、市報や市ホームページで申込み方法などの詳細をお知らせしますので、ぜひ、参加してみてください。

会員募集

日程/年4回程度 ※土日祝日実施
対象/市内在住、在学の小学1年生～中学3年生
※小学3年生以下は要保護者同伴
費用/原則無料
(内容によって材料費等の実費負担あり)

多摩川自然情報館 に行ってみよう!!

住所 染地3-8-26

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 年末年始(12月29日～1月3日)

入館無料

展示室のメシ名物「ニホンウナギ」

あいに来てね♪

多摩川自然情報館は、多摩川を中心とした市内の自然環境を紹介する、子どもから大人まで楽しく学べる環境学習施設です。休館日以外は毎日開館しているので遊びに来てね。QRコードから、館内をバーチャル散歩できるVRツアーも体験してみてね。



館内VRツアー



展示室

生きた多摩川の魚や植物、昆虫などが見られるよ。

学習室

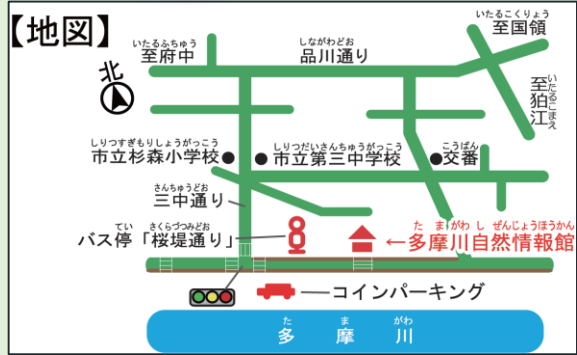
自然を学べるたくさんの本やぬり絵があるよ。

展示コーナー

廊下にも、市内の多摩川に生息する鳥類や魚、植物のパネルを展示しているよ。

環境学習イベント

多摩川や調布の環境について、幼児から大人まで楽しく学べるイベントを開催しているよ。毎月5日と20日に発行する市報等でお知らせしているので、参加してみてね。



バス停「桜堤通り」から徒歩2分。自転車置き場あり。駐車場はありません。お車の場合は、徒歩5分ほどのコインパーキングをご利用ください。

アライグマ・ハクビシンにご用心

アライグマ

尻尾にしま模様がある。足跡はモミジ形。



ハクビシン

鼻筋に白い一本線があり、尻尾が長い。



タヌキ

足が黒く、目の周りの模様が左右で離れている。



外来種

在来種

市内にもアライグマやハクビシンがいます。

そこで、調布市は、被害に困っている方に向けて、アライグマ・ハクビシンを捕まえる事業を始めました。ご相談により、市は、動物捕獲許可を持つ専門業者に、ご自宅等への「箱わな」設置を依頼します。2週間の設置期間中、相談者はエサ(家にあるリンゴやお菓子など)を箱わなの中に入れて、アライグマやハクビシンをおびき寄せます。わなにかかったら、専門業者が引き取ります。

家の庭に動物のフンが落ちている、池の金魚やメダカが食べられている、家庭菜園が荒らされるなどの変化があったら要注意です。調布市環境政策課(042-481-7087)へご連絡ください。

アライグマやハクビシンは、見た目はタヌキに似ていて可愛らしいですが、農作物を荒らしたり、家に住み着いたりして大きな被害を出す「外来種」です。

日本にはアライグマ・ハクビシンを食べる天敵がないうえに、エサとなる生ごみや果実、住みかになる空き家などがあり、深刻な問題になっています。

被害を防ぐには、地域全体での対策が大切です。

- ・庭の果実や生ごみを放置せず、すぐに片づける
- ・屋根裏への入り口になる壁の隙間などをふさぐ

「エサ場や住みかを作らない環境」を意識して、みんなで協力して対策を進めていくことが大切です。自分たちの生活を守るために、身近なところから意識してみましよう。

※ もともと日本にいなかったのに、人間によってほかの地域から持ち込まれた生き物の種類を「外来種」、もともと日本にいる生き物の種類を「在来種」と言います